

中国・四国支部評議員候補者および代議員候補者の選出方法運用に際しての留意事項

(評議員候補者)

1. 各ブロックの評議員は、各ブロックの評議員候補者および代議員候補者を選出する際に各ブロックでのまとめ役を務める。
2. 評議員の任期は選出された直後の3月1日から翌年の2月末日までの1年。
3. 中国・四国支部会の評議員定数は3名。
4. 評議員は支部の世話役ということを考慮して、評議員候補者を幹事大学から選出する。ただし、1名は支部会開催大学から選出する。支部会は、中国地方の幹事大学と四国地方の幹事大学で交互に開催する。
5. これまでの支部会開催大学および評議員担当大学の順番を参考にして(資料2)、2001年度から2010年度までの割り振り案を以下とする。支部会開催大学は10年で一巡、評議員担当大学は概ね5年で一巡。

年度	支部会	評議員候補		
2001	岡山大学	岡山大学	愛媛大学	広島大学
2002	高知大学	山口大学	高知大学	広島大学
2003	島根大学	島根大学	香川大学	広島大学
2004	徳島大学	岡山理科大学	徳島大学	広島大学
2005	広島大学	岡山大学	鳴門教育大学	広島大学
2006	愛媛大学	岡山理科大学	愛媛大学	広島大学
2007	山口大学	山口大学	高知大学	広島大学
2008	香川大学	島根大学	香川大学	広島大学
2009	岡山理科大学	岡山理科大学	徳島大学	広島大学
2010	鳴門教育大学	山口大学	鳴門教育大学	広島大学

1999年度支部総会において、2001年度支部会開催予定校を鳥取大学から次の予定大学(岡山大学)への変更が了承された(資料1参考2の4)。2002年度以降については、鳥取大学での支部会開催について適当な時期に検討する。

(代議員候補者)

6. 代議員の任期は選出された直後の3月1日から翌年の2月末日までの1年。
7. 中国・四国支部会員数486(2000年8月9日現在)より、2001年度代議員定数は5(日本数学会細則第13条参照)。

8. 内規より、4年間の代議員候補者総数20の各ブロックへの割り当ては

Aブロック 10, Bブロック 6, Cブロック 4

である。A, B各ブロックで次のように割り振る。

(1) Aブロックの4年間の代議員候補者数10を、Aブロック各4県の会員比を考慮して次のように割り当てる。

岡山県 5, 鳥取県 1, 島根県 2, 山口県 2

(2) Bブロックの4年間の代議員候補者数6を、Bブロック各4県の会員比を考慮して次のように割り当てる。

愛媛県 2, 徳島県 2, 高知県 1, 香川県 1

(3) A, B各ブロックの代議員候補者を、上述の4年間の代議員候補者割り振り数に従い、かつ評議員候補者の予定大学を参考にして選出する。

2001年度から2004年度までの割り振り案(4年で一巡)を以下とする。

年度	Aブロック	Bブロック
2001	岡山県, 山口県	香川県, 徳島県
2002	岡山県(2名), 島根県	徳島県
2003	岡山県, 山口県	愛媛県, 高知県
2004	岡山県, 島根県, 鳥取県	愛媛県